

高次脳機能障害支援者 基礎研修とは

1

当研修（高次脳機能障害支援者基礎研修）の 対象目標

研修対象

すべての障害福祉サービスの新人・
若手職員

目標

- 障害福祉サービスの対象となる高次脳機能障害について知る
- 高次脳機能障害者の障害特性を理解し、日常的な支援での対応方法を習得する

2

基礎研修講義のナビゲーション

- 障害の定義
 - 講義1：高次脳機能障害とは
- 障害特性の理解
 - 講義2：高次脳機能障害の診断・評価
 - 講義3：病院で行うリハビリテーション 医学的リハビリテーション
- 障害特性に応じた支援
 - 講義4：失語症とコミュニケーション支援
 - 講義5：障害福祉制度の利用
 - 講義6：相談支援
 - 講義7：生活訓練（障害福祉施設で行うリハビリテーション）
 - 講義8：復職・就労移行支援（障害福祉および障害者雇用における取組）
 - 講義9：生活と支援の実際（就労継続B型事業の利用）

3

基礎研修演習のナビゲーション

- 障害特性の理解
 - 演習1：診断評価体験
- 障害特性に応じた支援
 - 演習2：退院時支援の実際、情報収集とアセスメント
 - 演習3：生活訓練の実際
 - 演習4：復職・就労移行支援

4

高次脳機能障害支援の今後の課題

高次脳機能障害の支援体制については、支援普及事業開始から10年以上経過し、全都道府県に支援拠点機関が設置され、制度上の整備は進んだ。

障害福祉サービス等の運用面においては、高次脳機能障害の障害特性に十分対応しているとは言えない状況である。

当研修会の目的

5

© 厚生労働科学研究：高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究班

6